

児童にキーホルダー製作指導

県立中五島高の2年生4人が14日、新上五島町宿ノ浦郷の町立若松東小で、色つきのレジン(樹脂)を使ったキーホルダー製作を児童



高校生(左から2人目)の指導を受け、キーホルダーの型枠に樹脂を注入する児童。新上五島町、若松東小

若松東小で中五島高生 牡蠣やツバキのデザイン

に指導した。

先月、同高の学習活動を同小児童が見学し、キーホルダー製作の発表もあった。その場で児童が家業の養殖牡蠣をデザインしたキーホルダー製作を要望し、今回の指導が実現した。

同高の生徒は新しく作った牡蠣の型枠を携えて訪問。約1時間半、5、6年12人に牡蠣のほかツバキや尾曲がり猫などのキーホルダー作りを教えた。牡蠣を要望した6年、山田蒼介君(12)は「家族に見せたい」と喜んだ。

指導した浦口凜子さん(16)は「子どもたちに楽しみを与えることができた。地域貢献につながる」と話した。

(平田有子)



児童が作った牡蠣のキーホルダー